

## 5 津波写真記録

### 5-1 花咲港での津波の写真

(海上保安庁花咲分室提供) (東京大学行谷担当)

津波発生直後から、海上保安庁根室海上保安部花咲分室では花咲港港内の様子を写真に撮り続けていた。それらは全部で 113 枚にも及ぶが、海上保安庁根室海上保安部花咲分室の巡視艇ゆきかぜ船長である山中亮氏のご好意により、その全ての写真を入手することができた。ここでは紙面の都合もあるため、津波の様子がよくわかる写真を 7 枚選び時系列順に載せることにする。なお、図 1 は花咲港の概略図であるが、矢印は 7 枚の写真がどの地点からどの方向に向かって撮られたのかを示している。また、写真 1~7 のキャプションにはその写真の説明と撮影された時刻を示しておく。

この 7 枚の写真は午前 5 時 39 分から 67 分間の花咲港の様子を表している。写真 1~3 から午前 5 時 40 分頃には、海水位は岸壁の上端を越えて上昇した様子がわかる。また写真 4 では、舳(もや)いロープが切れないまま船体が岸壁付近で打ち上げられた状況がわかる。写真 5 を見ると、人が埠頭から海面を観察していることからわかるように、花咲港では津波による海水の流速は遅かったという印象をうける。すなわち津波は「じわりじわり」と伝わって来たのであろう。そして写真 6 や 7 から、午前 6 時 40 分頃には海水が大きく引いており、写真を注意深く見ると、岸壁上端に対し船が異常に沈んでいることがわかる。以上の様子から、津波により短時間に潮位が大きく変化したことがよくわかるであろう。これら 7 枚の写真は、津波の特徴が伝わる貴重な写真である。

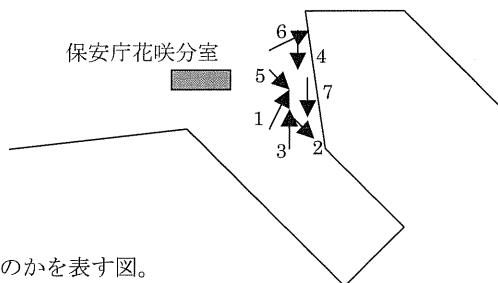
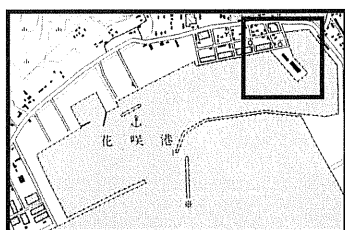


図 1 各写真がどの位置から撮られたのかを表す図。

矢印に添えられた数字が写真番号を表す。



写真 1 津波が岸壁を乗り越え浸入する様子

楢円で囲まれた中に見えるブロックが岸壁の先端である。船体はかなり上昇し、トラックのタイヤが海水に浸っていることがわかる。

(撮影 5:39)

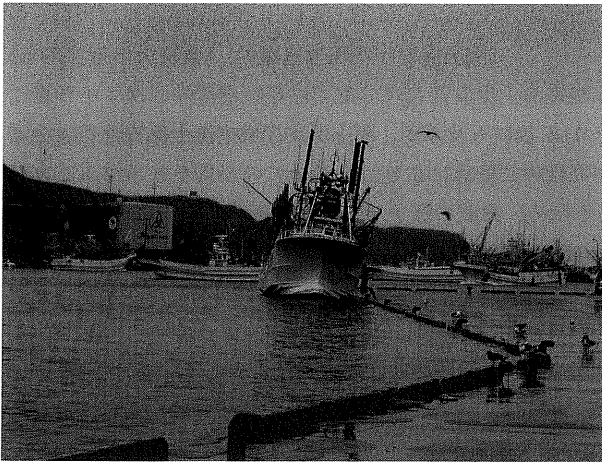


写真 2 船体が上昇している様子

船体の上昇により岸壁に舫われているロープが相対的に短くなり、その張力と浮力および岸壁からの抗力から船体が右方向に傾いている様子がわかる。

(撮影 5:39)

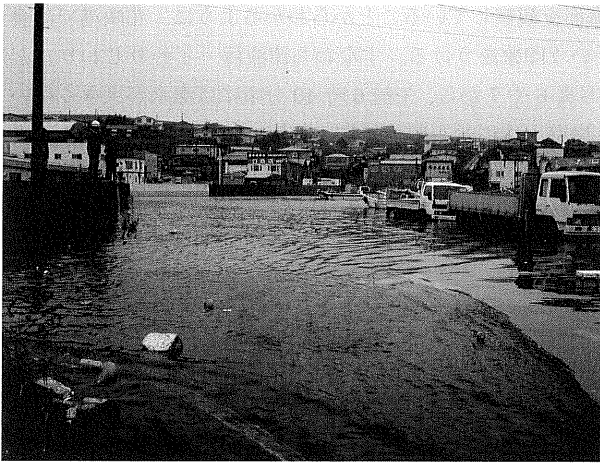


写真 3 道路が冠水している様子

岸壁につながる港の道路が完全に冠水している。ペットボトルや発泡スチロールの箱が浮いている様子がわかる。

(撮影 5:40)



写真 4 岸壁に船体が押し上げられた様子

津波による潮位の上昇で漁船が岸壁に押し上げられた。写真から舫（もや）いロープは切断されないまま船体が押しあがったことが確認できる。

(撮影 6:19)

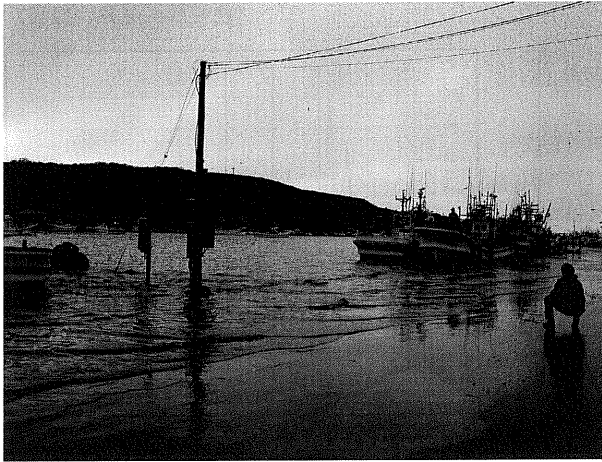


写真 5 引き続き津波が岸壁を越える様子

再び津波が盛り返して岸壁を越え道路に浸入している様子。ボアとなって進入している様子がわかる。

(撮影 6:34)



写真 6 引き波の様子

写真 5 の 10 分後には引き波となっていることがわかる。写真中央の岸壁に漁船が多く並んでいるが、その高さは岸壁上端よりもだいぶ低くなっている。

(撮影 6:44)



写真 7 引き波で船が低くなっている様子

引き波時の様子。手前の漁船に乗っている人の高さからも相当潮位が下がったことがわかる。奥に接岸している漁船は写真 2 の漁船である。

(撮影 6:46)